

2025 年度 第 2 回 5 月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2025 年 5 月 21 日（水）
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数 9 名
返信総数 4 名
出席総数 4 名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	高橋久夫
	委員	小川俊彦
	委員	藤原紀沙
	委員	井出智子
	委員	北條俊明

4. 議 題

（1）午前のワイド番組ビタミンとちぎ内

「奥日光ネイチャーウォッチング」5 分番組

放送日 毎週金曜日 08：15～ 放送中

① 2024. 8. 16 ②2024. 10. 25 ③2024. 12. 13④ 2025. 1. 24 ⑤2025. 4. 11

放送分を試聴

（2）その他

5. 議事内容

（1）「奥日光ネイチャーウォッチング」について

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

奥日光地域の情報を伝えるコーナー。

日光自然博物館の自然観察員（ガイド）が奥日光を歩き、自然風景の情報を電話インタビュー形式で伝えています。自然観察員は放送の数日前に取材に出掛け、限りなく最新の情報を提供くださいます。

放送開始から約 26 年の長寿番組（1999 年 4 月放送開始）。年末年始、改装工事の休館以外は毎週放送。自然観察員のスキル向上にもなることから、日光自然博物館側も協力的で年度初めには、新採用職員の出演もあります。自然博物館側の厚意で、毎回ではないものの、博物館公式 X への投稿・公式 YouTube への動画アップも行われています。

各委員からは

○5 分間という短い放送時間でありながら、奥日光の様子を詳しく伝えてくれる番組で聞きやすく、奥日光が好き、自然が好きな人は、この番組を楽しみにしていると感じた。日光自然博物館の自然観察員の取材だが、専門的な感じではなく、動物や植物の詳しい様子がレポートされていて、霜柱の話題は、“鍾乳石のよう”“ひっそりと”“森の鍾乳洞”などの例えが上手で、情景が目には浮かんだ。また、シンプルに、「最後にお知らせ」と締めくくる構成も良く、短時間で聴きやすい番組であり、約 26 年の長寿番組、ということも納得がいく。

○奥日光の、その時々素晴らしさが伝わるととても良い番組だと思います。これまで気づかなかった細部にわたる魅力を教えてくれる番組になっていました。特に冬は奥日光に足を運ぶ機会がぐっと減りますが、実際に訪れて、この目で確かめてみたいと思いました。まさに、奥日光にいざなう番組になっていました。出演する自然観察員の方々が、奥日光の自然を愛し、発見を日々楽しんでいるのが感じられます。番組が年を重ねても、自然は毎年変化があって、プロがそれを見つけて取り上げているから、何年聞いていても奥日光の今が感じられて飽きることがないのでしょうか。映像のないラジオですが、トークから今の奥日光の様子が目に浮かぶようでした。言葉の選び方を含め、説明の仕方が上手なのだと思います。でき得るなら、鳥の鳴き声や風の音など、短くてもよいので現地の音声が入ると、ラジオの良さがさらに発揮できるのではないのでしょうか。わずか 5 分の番組ですが、リスナーも出演者も肩の力を抜いて聞くにはちょうどよい尺ではないのでしょうか。

○5 分番組として非常にコンパクトにまとまっており、毎週最新の現地情報が得られる点が県民にとって有益だと感じました。特に紅葉シーズンなどに訪れる際の参考にもなり、春夏秋冬の自然の移り変わりが感じられる内容に興味を引かれました。他の回の内容もぜひ聞いてみたいと思いました。自然や動物の様子も短時間でうまく伝えられていました。今後は収録した自然音などが入ればもっと臨場感が高まると思いました。

○5分ほどの短い番組の中で、その時々気象状況や、見所、歩く上での注意点など、盛りだくさんの情報がコンパクトに分かりやすくまとめられていると感じました。説明内容は、説明者である自然観察員によって着原点や表現方法が違っており、個性の違いも感じられて面白かったし、総じて表現が豊かで、その場にいるような臨場感が味わえました。この放送を聞いて、奥日光を訪れてみたいと思わせるような内容になっていたと思います。一方第一いろは坂を下って標高差による季節の移ろいや魅力を紹介する放送ですが、第一いろは坂は古いルートで1車線しかなく、狭く勾配もきつく、車が勢よく降りてくることから、歩くには大きな危険がともないます。推奨できるようなルートではないと思いますが、今回の放送では、歩く上での危険性や注意点の紹介はありませんでした。

○奥日光の自然の移り変わりを丁寧に伝える解説が印象的で、営利的な視点がなく、本当に自然を大切にしている姿勢に感銘を受けました。自然を体験し、じっくり観察するという視点がしっかりと番組に表れており、子どもたちにも自然とどう向き合うかを教える良い教材になると感じました。5分という短さの中で自然の尊さを伝えるこの番組は、県内だけでなく県外にも発信すべきだと思いますし、学校教育の中でも取り入れる価値があると強く感じました。

○ラジオは耳だけのメディアなので、ミソサザイやキリギリスの鳴き声など、自然の音をもっと取り入れて臨場感を高めてほしいと思いました。また、ホコリタケの説明では形や色、大きさなどの具体的な描写がもう少しあれば、より想像しやすかったと感じます。私は登山経験もあり自然には親しみがありませんが、番組を通して久しぶりにその感覚を思い出し、清々しい気持ちになりました。特に霜柱を「宮殿のよう」と表現する視点には共感し、自然の美しさを改めて感じました。こうした良質な番組は、日光に限らず他の地域でも展開してほしいと思います。

○今回の奥日光ネイチャーウォッチングは、地元の自然をテーマにした爽やかでリアルな内容が印象的でした。伝えるプロではない観察員の飾らない話し方が好感を持って、朝のワイド番組内のコーナーとしても非常に相性が良いと感じました。5分という短さも程よく、地元・栃木県民として心地よく聴ける番組だと思います。アナウンサーの自然な聞き出し方も雰囲気づくりに貢献しており、SNSとの連携を番組内でも紹介すれば、より広がり期待できると感じました。

○日光周辺の自然の様子をタイムリーに聞かせてもらい、自然の移ろいを想像することができた。自然博物館に勤務する職員であればこそ、素人では気が付かない自然の様子をレポートしていただいた。私も日光周辺を散策しているので、ある程度レポートしている場所・自然の様子は想像できたが、そうでない人にとって興味を抱かせるもので

あったかは不明。映像ではないためイメージは湧きにくいのであれば、鳥や虫の鳴き声、川の流れる・木々の音など、可能であればあったほうがさらにイメージが湧くので番組の工夫も必要。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」(2025年6月8日)
- ② 当社のホームページに掲載(2025年6月9日)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2025年6月10日～)

以上